



ぱんだぐみ ナゾより

令和6年8月30日

年々暑くなる夏ですが、子どもたちにはそんなことは関係ないですよ。 「プール行った」「川に行った」「さかな見てきた」「おじいちゃん、おばあちゃんに会った」「動物園に行った」といろいろ教えてくれました。園に子どもたちの元気な声が戻ってきてうれしく思います。プール遊びも今月で終わり、運動会に向けての活動が始まります。

夏の間に蓄えた力を発揮できるように取り組んでいきたいと思います。



色水あそび・泡あそび

色水あそびでは、「せんせい見て～できた～」ときれいに合わせた色水を見せてくれたり、何度もいろんな色を組み合わせて楽しんでいました。同じ色の組み合わせでも、色の濃さの違いに気づいたりといろんな気づきがあったようです。泡あそびでは、泡の感触が気持ちよくて、体中につけて遊んでいる子がたくさんいました。泡の感触を十分に感じていた子どもたちでした。

プール遊び

大きなプールを見て、うれしそうな表情を見せてくれていた子どもたち。毎日プールに入り、元気よく水あそびをしました。水が顔にかかるのが苦手な子はゴーグルを持ってきて、「これなら大丈夫」と自分に言い聞かせ、プール遊びをしている子や、ゴーグルを持ってきて、頭につけたまま水遊びをしている子もいました。トンネルも大好きで、「トンネルしてほしい」という声もいつも上がっていました。顔に水が付くか付かないか、ギリギリのところまでトンネルをくぐり抜けていく子や、水に顔をしっかりと付けてくぐり抜けていく子など、一人ひとりできることで遊んでいました。一番好きだったのは、洗濯機です。自分たちでプールを走って流れを作り、体をその流れに任せて流れるのはとても楽しかったようです。プカプカ浮いている子もいました。また来年もプール遊びたくさんしようね。

今月の絵本

「はじめてのおつかい」 福音館書店刊
「あかちゃんの牛乳を買ってきて」と頼まれたみいちゃんは、ひとりでおつかいに出かけます。
転んでお金を落としたり、お店のおばさんに気づいてもらえなかったり、ハラハラドキドキ。無事にお買い物はできたかな？

今月の歌

- ・こおろぎ
 - ・とんぼのめがね
 - ・大きな栗の木の下で
- などを歌いたと思います



避難グッズは使う機会があまりないので、一度用意するとそのままになりがちです。しかし、小さな子どもがいる家庭では、子どもの成長に合わせて備えるものも変わってきます。最低でも年に一度は確認したいものですね。懐中電灯やラジオなどの機能確認も大切ですね。いざというときに役立つよう、“グッズの見直し”をしておきましょう。

園では大好きなおじいちゃん、おばあちゃんをお招きして、子どもたちといっしょに過ごす時間を設けています。久しぶりの再会に恥ずかしそうな子もいますが、しばしの時間一緒に過ごしていただき、楽しい時間を過ごせればいいなと思っていますので、楽しみにしててくださいね。おじいちゃん、おばあちゃんの参加ができないご家庭は、ご両親での参加をお待ちしております。